

# 教科体育を中核とした体力向上

## 「令和5年度体力・運動能力調査」～県との比較（大島地区）～

種目 学年	握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび		20mシャトルラン		50m走		立ち幅とび		ボール投げ	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小2	◎	○	○	○	○	△	▲	△	○	○	▲	△	▲	△	◎	◎
小4	○	○	○	○	△	△	△	△	◎	○	▲	▲	△	△	◎	○
小5	○	◎	○	◎	◎	◎	△	○	○	◎	▲	▲	△	△	○	◎
小6	○	◎	△	◎	△	△	△	△	○	◎	△	△	△	○	○	◎
中1	○	△	○	△	○	△	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	○
中2	◎	◎	△	◎	○	○	◎	◎	○	◎	△	◎	△	◎	○	◎

【Tスコア】 ◎52以上 ○50以上52未満 △48以上50未満 ▲48未満

※ Tスコアは集団の平均値を50とします。◎, ○は県平均を上回っている種目です。

### 傾向

- 全体的にみると、**64%以上の種目で県平均を上回りました。**
- 運動習慣調査では、**体育の授業を「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童生徒が90%を超えました。**
- 種目別では**握力（筋力）、20mシャトルラン（全身持久力）、ボール投げ（巧み性、瞬発力）がよい結果でした。**
- **50m走（スピード・走力）、立ち幅とび（瞬発力）に課題**があります。

### 各学校で取り組んでほしいこと（対策）

【体育・保健体育学習の充実（新学習指導要領の趣旨に基づく授業づくりの推進）】

- 「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の育成と指導内容の明確化
- 「カリキュラム・マネジメント」及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- 全ての子どもが安心して学習に取り組むことができる「個に応じた指導」の一層の充実
- 運動の特性に応じた楽しさを味わうことができる場面の保障
- 「保健領域」と「運動領域」との一層の関連を図った指導の充実

### 奄美市立大川小学校の取組

奄美市立大川小学校は、令和4年度から2年間にわたり、県指定の「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業推進校として「運動する楽しさを実感し、意欲的に運動に親しむ、活力ある児童の育成」を研究主題に掲げ、研究を重ねてきました。

研究主題に迫るために、体育科においては「分かった」や「できた」を味わいながら主体的に「関わり合う」指導法の工夫、教科外体育では「運動に取り組む時間の設定により日常的に運動に親しむ仕掛けの工夫」、家庭・地域との連携では「保護者と連携した食育や生活習慣確立のための取組の充実」を重点とした研究実践の結果、「体育の授業が好き。」と回答する児童が増えるとともに、新体力テストの結果についても、長座体前屈や50m走、立ち幅跳びにおいて記録が向上するなどの成果が見られました。

